地域力向上事業

新しい自分をみつけよう!きらりキャンプ in 阿蘇

[主 催] 国立阿蘇青少年交流の家

[後 援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期 日] 令和元年9月28日(土)~9月29日(日) 【1泊2日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家

[参 加 者] 17名(中学3年生3名、1年生1名)

(小学6年生2名、5年生1名、4年生1名、1年生1名)

(保護者8名)

[講師] 江藤 圭子 氏 (座談会ファシリテータ)

[担当職員] 有木園和志(企画指導専門職) 花田 誠(事業推進室長)

山川 昇椰(事業補佐員) 古庄 宏光(事業支援室長)

1 趣旨

自然体験を通して、心に悩みをもつ青少年に自然体験の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感を育む。また、交流の家での生活を通して、規則正しい生活の良さや友達と交流する喜びを感じさせ、基本的な生活習慣作りのきっかけとなるようにする。

2 目標

- (1) 自然の中での遊びや体験活動を楽しみ、さまざまな活動に対して意欲をもつことができる。
- (2) 友達やボランティアとのかかわりを通して、交流することの喜びを感じることができる。
- (3) 自分でできることを増やして達成感を味わい、自分に自信をもつことができる。

3 事業展開

研修プログラム

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:	00 1	4:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
9月28日 (土)								受付	アイスブレイク	開会式		野外 (カレー			明日の活企画しる	27/32/8/8	【小中学生】 就寝 準備 【保護者】 「就寝」 ボラと3		寝就寝

	6:0	6:00 7:00		8:00		9:00		10:00	11:00	12:00	0 13	3:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
9月29日 (日)	起床	バス移動	熱気球体験	朝食	バス移動	泊室	部屋点検	チャレンジ・ケー 【保	学生】 -ム 楽し 護者】 話会	もう	昼食	アンケート	閉会式									



ボランティアによるアイスブレイク



野外調理



座談会



活動企画の様子



熱気球体験



記念撮影



チャレンジゲーム



企画した活動の実際



閉会式後の様子

4 成果と課題

(1) 成果

- ・昨年度参加者や「登校拒否・不登校に学ぶフレンズネットワークくまもと」の口コミによるネット ワークで効果的な工法を行うことができ、参加者を確保することができた。
- ・開会式前にボランティアによるアイスブレイクの時間を設定したいことで、どの参加者も早い段階 でリラックスして事業に臨むことができた。
- ・熱気球体験を取り入れることが、多くの参加者にとって本事業への期待を高めるものとなった。
- ・野外調理や自分たちで活動内容について話し合い実施するプログラムを通して、参加者どうしが関わり合い、交流を深めることができた。
- ・保護者と小中学生で別のプログラムを設定し、座談会ではファシリテータを招聘したことで、保護者は普段話せないことを話したり、貴重な情報を耳にしたりと、リラックスした環境の中で、多くの学びや関係性をもつことができた。
- ・ボランティアと保護者の交流の時間を設定したことで、互いにとって有意義な意見交換の場になった。

(2) 課題

- ・今回の参加者を中心に広報範囲を広げる等、広報の在り方をさらに工夫し、より多くの対象者に本 事業のことを周知する必要がある。
- ・中学生の参加者が将来への見通しをもつヒントとなる機会つくれるように、ボランティアと中学生の交流の場を工夫する必要がある。
- ・今回は天候に恵まれ、熱気球体験を実施することができ、参加者の満足度も非常に高かったが、雨 天時の内容もさらに充実させる必要がある。